

Kyoto University

# Campus Life News

2016.07.15 Fri No.7

## 夏季の窓口業務の休止について (教育推進・学生支援部、学生総合支援センター)

赤煉瓦棟 (学生総合支援センター、教育推進・学生支援部) では、夏季一斉休業期間 [8月15日 (月) ~ 17日 (水)] のほか、次表とおり終日または昼休みの窓口業務を休業しますので、ご理解のほどよろしく申し上げます。

取扱業務	部署名	終日休業	昼休み休業 (12時~13時)
学生生活上の様々な悩みについての個別相談	カウンセリングルーム	8月12日 (金)	-
就職活動の支援	キャリアサポートルーム	8月18日 (木)、19日 (金)	8月22日 (月) ~ 9月30日 (金)
障害のある学生の修学上・学生生活上の相談・支援	障害学生支援ルーム	-	-
サークル・部活動、課外活動施設	厚生課課外活動掛	8月18日 (木)、19日 (金)	8月5日 (金) ~ 9月30日 (金)
学研災、学生寮、アルバイト	厚生課厚生掛	8月18日 (木)、19日 (金)	8月5日 (金) ~ 9月30日 (金)
海外留学、留学生	国際教育交流課	-	8月8日 (月) ~ 9月30日 (金)
授業料免除、各種奨学金※	学生課奨学掛※	8月18日 (木)、19日 (金)	8月8日 (月) ~ 9月30日 (金)

※授業料免除等の手続窓口 (学生課奨学掛) は赤煉瓦棟ではなく総合研究10号館1階ですの間違えないようご注意ください。

## 女子学生へのつきまとい行為について (注意喚起)

最近、本学キャンパス内で、つきまとい行為にあったという女子学生からの相談が増えています。見知らぬ男性から声をかけられることに不安を感じる女性は少なくありません。学生の皆さんにおかれては、相手の気持

ちを考えた行動を心がけるようお願いいたします。

なお、つきまとい行為にあった場合や当該行為を目撃した場合は、所属の教務担当又は教育推進・学生支援部学生課 (TEL:075-753-2505) にご相談ください。

## 琵琶湖の美化活動について



「びわ湖の日」環境美化活動の一環として、本学体育会ヨット部、カヌー部の部員約100名 (7月3日 (日) 実施) 及びボート部の部員約55名 (7月10日 (日) 実施) がそれぞれ琵琶湖の清掃活動を行いました。

この美化活動は7月1日の「びわ湖の日」にちなみ、日頃、琵琶湖で活動している学生により自主的に企画されたもので、活動の様子は産経新聞 (滋賀版、京都版) や京都新聞 (滋賀版) でも取り上げられました。

清掃作業を終え、きれいになった琵琶湖での活躍を期待しております。

### 【川添学生担当理事・副学長のひとこと】

お疲れさまでした。ところで、琵琶湖、ボート部、三高と言えば「琵琶湖周航の歌」ですが、来年はこの名曲が誕生して100年目とのことです。京大生なら1番ぐらい歌えてほしいものです。

## 寮自治会との団交・協議の報告

学生生活委員会第三小委員会(学寮等担当)の委員長、医学研究科の錦織です。2016年5月19日(木曜日)に吉田寮自治会と、また、6月3日(金曜日)に熊野寮自治会と、それぞれ団体交渉(以下、「団交」という。)および協議を行いましたので、以下に報告いたします。

### 【吉田寮 大規模補修を主張】

吉田寮自治会との団交ですが、会場は文学部第三講義室で、午後7時前から午後11時30分過ぎまで行いました。吉田寮自治会等側の参加者は約50人、大学執行部側の出席者は第三小委員会の教員5名と教育推進・学生支援部職員4名でした。

内容ですが、前回(3月17日)同様、まずは話し合いの形式について話し合いました。寮自治会側は団交形態の継続を求め、少人数の代表者による話し合いを求める大学執行部側と意見は平行線のままでした。また、寮自治会側からCampus Life News No.2(2016年3月31日発行)の記事内容「吉田寮自治会との『団交』報告」が吉田寮自治会に対するネガティブキャンペーンであるという主張があり、今後は寮自治会と合意した内容を掲載すべきだとの要求がありました。さらに寮自治会側から、寮棟の老朽化対策について京都市歴史的建築物の保存及び活用に関する条例を適用した補修案の説明がありました。大学執行部側で現棟老朽化対策の検討が行われているのかとの質問がありましたが、第三小委員会として把握している情報が現在ないため、何か情報が入れば共有する旨伝えました。最後に、情報公開連絡会の廃止は認められないとの寮自治会から主張があり、今回の団交は終了しました。

### 【熊野寮 落ち着いた協議】

熊野寮自治会との協議ですが、会場は熊野寮食堂で、午後6時半過ぎから午後10時前まで行われました。熊野寮自治会等側の参加者は約40人、大学執行部側の出席者は第三小委員会の教員8名と教育推進・学生支援部職員4名でした。

まず、今回の熊野寮との協議は、第三小委員会からの「団交形式でない方法で話し合いたい」という提案を寮自治会がある程度汲んだ形をとり、寮自治会側参加者の発言は一人ずつ行うことが徹底されました。協議の内容

ですが、熊野寮自治会から確約と引継ぎ団交の意義について説明があった他、「少人数の代表者による話し合いを行うつもりはない」、「寮自治会との協議内容をCampus Life Newsに掲載するのであれば事前に寮自治会と合意すべきだ」、「川添理事・副学長が団交に応じないのは確約違反だ」などの主張がありました。また、平成28年2月29日に行われた京都府警による熊野寮の家宅捜索に関して、「警察の捜索中に不当な行為があったかどうかについて検討し、そのような行為があったならば抗議すべきである」、「捜索に立ち会った職員の対応が(確約書に沿って)不十分であるため、大学執行部側からの説明を求めたい」という主張があったため、その内容を川添理事に伝えると回答しました。また、熊野寮自治会からも情報公開連絡会の廃止は認められないとの発言があり、今回の協議は終了しました。

### 【団交について考える】

第三小委員会の仕事を引き受け、団交に出席するようになってから、民主主義や大学の自治のあり方についてよく考えるようになりました。他大学に勤める知り合いの教員に団交の話をする、「まだそんなのあるんだね〜」というようなノスタルジックな反応が返ってくる人が多いですが、個人的には日本の社会全体で同調圧力が強くなっているように感じているため、「自分の意見ももう少ししっかりと主張してもいいかもしれない」と考えるよい機会にもなっています。一方で、団交には「権力を糾弾することが目的化する」という問題が内在されているようにも感じますし、何と云っても(寮自治会側の参加者が名乗らないため)相手が誰なのかわからないという話し合いの形態には強く疑問も感じます。

第三小委員会としては、少人数の代表者による話し合いの形態を求める川添理事・副学長の提案を基本的に支持しており、今後も引き続き団交形態からの転換を両寮自治会には求めていくつもりです。またCampus Life Newsを通じて寮自治会と話し合った内容をこれからも発信していきますが、その際、寮自治会の上承を前提とすることなく、第三小委員会委員長からの報告という形をとっていく予定です。そのため本記事の内容には、委員長の視点・価値観が現れた部分があることを、読者の皆さまにはお汲み取りいただければと思います。

## 公式 Twitter 、学生意見箱

京大生への学生生活支援の一環として、公式Twitterによる情報発信を行っています。各種学生生活支援に関する情報などを積極的にお届けしますので、ご活用ください。

また、京大生のみなさんの学生生活における日頃の疑問やご要望にお応えするため、「学生意見箱」を設けています。こちら是非ご活用ください。

公式Twitterアカウント@CLI\_KU



学生意見箱



京都大学  
KYOTO UNIVERSITY

発行者：学生担当理事・副学長

問い合わせ先：教育推進・学生支援部 学生課

〒606-8501 京都市左京区吉田本町 TEL (075) 753-2505 FAX (075) 753-2567

Campus Life News URL <http://www.kyoto-u.ac.jp/ja/education-campus/cli/cln>

